



## 静岡地方気象台長からのメッセージ

～南海トラフ地震に関連する情報運用開始から一年～

皆さん、こんにちは。  
静岡地方気象台長の中村です。

昨年11月1日に、気象庁は「南海トラフ地震に関連する情報」の運用を開始しました。それから1年が経過しました。

現在は、従来の確度の高い地震予知を前提とした東海地震の防災体制から南海トラフ地震に関する新たな防災体制へ移行する過渡期です。「南海トラフ地震に関連する情報」および、この情報に対する防災対応も、新しい体制に移行するまでの暫定的なものです。

しかしながら、南海トラフ地震はいつ発生するか分かりません。現在の「南海トラフ地震に関連する情報」について知っていただき、南海トラフ地震に備えていただくために、次のことがとても重要です。

### ○日頃からの地震や津波への備えをしていただくこと

南海トラフ地震に限らず、地震はいつ、どこで起きるか分かりません。日頃から地震や津波への備えをしていただくことが、南海トラフ地震への備えをすることにもなります。住宅の耐震化、屋内の家具の固定や安全な場所の確保、避難経路や避難場所の確認等の日頃からの準備をしていただくとともに、地域で行われる防災訓練に積極的に参加してください。

### ○「南海トラフ地震に関連する情報」について知っていただくこと

この情報が確度の高い地震の予測をお伝えするものではないことなど、その内容について知ることや、この情報が発表された際の防災対応などについて知っておくことが、いざという時に混乱せずに対応していただくためにとても重要です。

気象台としても、県民の皆さまに、南海トラフ地震等の地震災害から自らの命を守っていただけるよう、地震に対する備えや、この情報に関する周知を引き続き進めてまいります。

平成30年11月 1 日  
静岡地方気象台長 中村浩二

【参考】

○地震への備え

首相官邸 「災害に対するご家庭での備え～これだけは準備しておこう！～」

<https://www.kantei.go.jp/jp/headline/bousai/sonae.html>

政府広報 「大切なのは、日ごろの備えです。」

<https://www.gov-online.go.jp/cam/bousai2017/>

○南海トラフ地震に関連する情報について

気象庁 「南海トラフ地震に関連する情報」の運用を開始しました

[https://www.jma.go.jp/jma/kishou/books/nteq/leaflet\\_nteq.pdf](https://www.jma.go.jp/jma/kishou/books/nteq/leaflet_nteq.pdf)

○新しい防災体制に関する静岡県の検討

静岡県 東海地震の事前対応の見直しについて

<https://www.pref.shizuoka.jp/kinkyu/nankaitorahu.html>

(静岡県防災会議専門部会(南海トラフ地震防災対応)など)

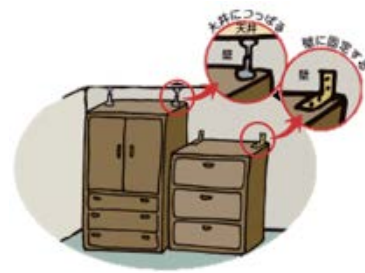
○新しい防災体制に関する国の検討

内閣府 南海トラフ沿いの異常な現象への防災対応検討ワーキンググループ

[http://www.bousai.go.jp/jishin/nankai/taio\\_wg/taio\\_wg\\_02.html](http://www.bousai.go.jp/jishin/nankai/taio_wg/taio_wg_02.html)



備蓄の確認



家具の固定



避難場所・避難経路の確認